

# がっこう 動物新聞



日本小動物獣医師会版

2014年

第8号 (通算)

## 飼育小屋

### ウサギ

のお話

飼育小屋の場合

僕は飼育舎で過ごすのはとても好きです。広いところで動き回るのが好きだからね。でも、床が湿っているのは苦手。コンクリートにして、いつもきれいにしてもらって嬉しいけれど、清潔なスノコを敷いてぬれないようにしてほしいな。夏は大きな木が日差しをさえぎってくれて、寒い冬には飼育舎の周囲を囲って、いつも工夫してもらっているんだ。

注意点

ウサギは住居の一角を排泄場所に決める習性があります。その場所にトイレを設置できるといいですね。



ケージ飼育の場合

ケージに入って、教室にいるのが好きなウサギもいるよ。この子たちは、ケージをお掃除してもらおうとき、広い教室で運動できるんだ。ひとりひとりがそれぞれケージに入ってくるので、うんちの様子や食べた量、元気のことでよくわかってもらえる。

狭いけど、触ってもらおうチャンスもずっと多いし何と言ってもみんなの近くにいられるのは嬉しいな。



## モルモット

私の住まいは、飼育ケースといわれている箱です。私は、エサをたくさん食べて、おしっこやうんちをたくさんするので、水洗いができる箱でないと困ってしまいます。深さは30cmもあれば、出ることができません。

つまり、ふたはなくてもいいの。悔しいけど出られないのよ。

だけど、怖がりの私のために入れてくれた隠れ家によじ登れば外に出ることはできるわ。気を付けてね。

体も小さいし、飼育ケースもそんなに大きいものは必要ないので、持ち運びも便利。いいことだらけなのよ。

注意点

衣装ケースで飼育する場合には、床の状態に注意が必要です。柔らかい素材のスノコを敷き、短い四肢を汚さない配慮をお願いします。また、巣箱を入れてしまうと、都合がいい時に隠れて人に慣れないので、飼育当初以外は入れることをお勧めしていません。



モル子です。はずかしがりやなの…。



## ハムスター

僕の住まいはね、滑車付でいいでしょ。いつもぐるぐる回しているよ (病気や高齢の場合は禁忌です)。

僕たちの住まいはいろいろな可愛いのが売られているけど、実はね、周囲の壁が網だとちょっとこまるんだ。足が引っかかって怪我をすることがあるんだよ。だから水槽みたいな方がいいね。屋間はほとんど寝ていることが多いので、足に絡まない真綿やペーパータオルでこさえたフカフカのベッドもほしいな。

でもその中に入っちゃって、「姿が見えないよ〜」なんて、お友だちに言われたりするけれど。

僕はハムの介。ちっちゃいけど元気だよ



目の見えない人の  
お手伝いしてくれるのが  
盲導犬

補助犬を  
知っていますか?

体の不自由な人の  
お手伝いしてくれるのが  
介助犬

耳の聞こえない人の  
お手伝いしてくれるのが  
聴導犬



この3つを  
「補助犬」といいます。

もし町で見かけたら、仕事の邪魔にならないように、心の中で「がんばれ!」と応援してね。

獣医師会は、学校の動物飼育を応援しています。学校で飼育している動物のことならどんなことでもご相談ください。

連絡先

一般社団法人  
日本小動物獣医師会

〒105-0014 東京都港区芝2-5-7 芝Jビル5階  
TEL 03-5419-8465